

三世代交流スポーツ大会

11月4日（土）、旧草間中学校体育館において、草間地域づくり推進委員会（田井義明会長）の教育文化部（梶上守部長）が三世代交流スポーツ大会を開催し、地域住民42名の参加がありました。3人1チームで、計12チームが3グループに分かれて競技に取り組み、親睦を深めました。

この日は、新見市スポーツ推進委員の清本喜子さん、教育文化部長の梶上守さん、副部長の柏葉孝明さんの指導のもとで、子供から高齢者まで誰でも気軽に楽しめるモルック、ポッチャボール、トリコロキューブの3種目を楽しみました。どの種目も作戦を考えながら投げ、成功すると高得点を獲得できるため、とても盛り上がりました。それぞれの種目で得点を競い、3種目の総合得点で順位を決めました。成績は次のとおりです。

優勝Ⅱみつばち（杉一郎、橋本すま子、真壁明美）
準優勝Ⅱピオネ（橋本二郎、土谷肇、土谷徹）
第3位Ⅱコスモス（植田茂作、山田結衣・ろく、石川梨奈）



得点が気になるポッチャボール



狙いを定めて投げているモルック

草間台ふれあい広場

11月12日（日）、午前9時から草間台小学校体育館において、草間地域づくり推進委員会（田井義明会長）福祉部（宮坂要治部長）主催の、「草間台ふれあい広場」が開催されました。今年度も午前中のみの開催となりましたが、3地区（草間・土橋・足見）から約110名の参加者がありました。

まず大正琴（カルストなでしこの会）の演奏で始まり、琴の演奏に合わせて参加者の歌声が聞こえてくるなど、会場がとても和やかな雰囲気になりました。次は、「中ひろしと仲間たち」による歌謡ショーで盛り上がりました。迫力のある歌声による演歌や、曲に合わせたキレのある日本舞踊、滑稽なドジョウすくいに魅了されました。最後は、「正義亭調味料（中学生）」さんと「東家三人生（公務員）」さん

による落語でした。謎かけや蕎麦などを題材にしたテンポの良い落語で、会場には何度も笑い声が広がっていました。



大正琴（カルストなでしこの会）



ドジョウすくい



日本舞踊



中ひろし さん



東家三人生 さん



正義亭調味料 さん



正義亭調味料さんの姉（左）と弟（右）

草間台GG愛好会11月大会

11月18日（土）、草間カルスト山荘グラウンドにおいて、草間台グラウンドゴルフ愛好会の11月大会が、会員35名の参加で行われました。成績は次のとおりです。

【男子の部】

①小川晴夫 52 打 ②中山義昭 ③福水 真

④西川正美 ⑤野手征士

【女子の部】

①藤井シゲノ 56 打 ②藤野晴美 ③西上みす江

④吉川岸恵 ⑤西村宮子

【ホールインワン賞】

・小川晴夫 ・西川正美 ・野手征士
・山口波子 ・藤野晴美 ・藤井シゲノ
・二摩保子 ・吉川岸恵

【ホールインワン賞15歳以下】

・小川晴夫 ・藤野秀喜 ・横田秀明
・山口波子 ・笹田富子 ・中山義昭2本
・西村宮子 ・清本ヒサ子

【お詫びと訂正】

11月号の「草間台GG愛好会10月大会」の結果の中で、**女子の部の1位は「藤野晴美」さん**でしたが、お名前が「清藤野晴」となっておりまして、誠に申し訳ありませんでした。訂正をいたします。

新シリーズ『草間台地の魅力』

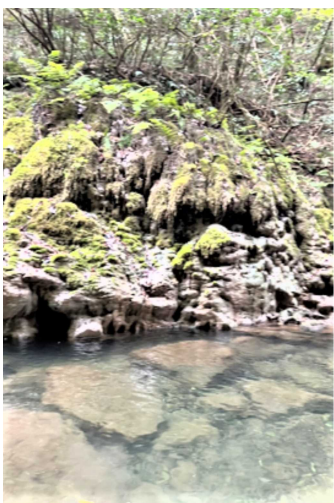
（第9回）

草間台の魅力

黒岩未衣菜（九州大学探検部）
洞窟の魅力は先輩方がこれまでたくさん語ってくれていたもので、私は洞窟の外に目を向けてみたいと思います。

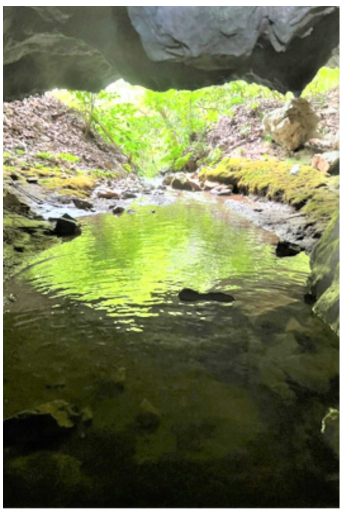
みなさんは生物が造る岩石と聞いて何を思い浮かべますか？私はこの前初めて草間台を訪れたのですが、そこで Tufa（トゥファ）という岩石を見つけた。そしてこの Tufaこそが生物が造る岩石なのです。コケや藍藻類は光合成を行い、二酸化炭素を取り込みます。Tufaとは藍藻類が光合成をしてカルスト水中の二酸化炭素を取り込むことで、溶けきれなくなったカルシウム分が沈着して造られた岩石です。この岩石は藍藻類が造るため、日光が不可欠で洞窟の中にはできません。しかし石灰岩が溶け込んでできるカルスト水が必要なので、石灰岩帯にしかできません。つまり全国的にみると珍しい岩石で、これほど大きい Tufa を見ることはなかなかなく、とても感動しました。

洞窟だけではなく様々な魅力にあふれる草間台の環境を保護しながら後世に残していけたらいいなと思います。



佐伏川の Tufa（トゥファ）

そこに開口する洞口



短歌

人住まぬ庭に古木の紅葉あり

留守まもりしか見景色づく

長岡愛子

異常気象で日本の四季がおぼろげに

二季になるやと心配したり

中村すみえ

黄の極む銀杏は朝より鳥々を

放ちて始まる日常がある

滑 都

沖縄の「岡山の塔」に献花せり

白山吹の写真添えて

杉 秀樹

とりどりの菊を手折りて供へしに

問うてみるなり香りますかと

西山富美子

俳句

晩秋の日とおだやか友逝けり

橋本八重子

ひとつだけ色を濃くして泡立草

長田保子

川柳 題「天」「位」

天高く無我の境地で散歩する

笹田 彰

求めまい地位も位も財産も

西本八寿江

里山を半日散策好天気

田井芳枝

のんびりゆったり天性の花は咲く

小川久子

これ位大丈夫よと飛んでみる

才田茂美

今日実蒔く天一天上良い苗が

高畑文子

曾孫電話マラソン一位褒めてやり

中村すみえ

私は百姓が好き天職か

勲章は努力の証と伯父を褒め

天高し草取りが好き農が好き

出来るのは草取り位今の吾

農家皆天気予報とにらめっこ

表札も縁起良いのが一位の木